

平成22年度

たばこ耕作資材委託試験成績検討会

総括コメント

(中間検討会・最終検討会の総括)

平成23年 2月

財団法人 日本葉たばこ技術開発協会

目 次

	頁
農 薬 の 部 -----	1
殺 菌 剤 -----	1
殺 虫 剤 -----	3
植物生長調節剤 -----	3
苗床・本畑資材、機械、乾燥の部 -----	4
苗床資材 -----	4
本畑資材 -----	4
機 械 -----	4
乾 燥 -----	5
総括コメント決定打合会概要 -----	6

農 薬 の 部

殺 菌 剤

資材名および試験対象	試験依頼社	総 括 コ メ ン ト
<p>ユニフォーム粒剤 薬効・薬害(疫病) 2倍量薬害</p>	<p>シンジェンタ ジャパン(株)</p>	<p>薬効・薬害:6kg/10aおよび9kg/10a 1回 作条土壌混和で薬害はなく、効果は認められるが、さらに試験が必要である(例数不足)。 2倍量薬害:移植前日の9kg/10aおよび18kg/10a 1回 作条土壌混和で薬害が認められない(終了)。 [備考]薬効・薬害試験の試験年(例数):H22(2)</p>
<p>レーバスフロアブル 薬効・薬害(疫病) 2倍量薬害 官能検査</p>	<p>シンジェンタ ジャパン(株)</p>	<p>薬効・薬害:1,000倍 2回 茎葉散布で薬害はなく、効果は認められるが、さらに試験が必要である(例数不足)。 2倍量薬害:移植30日および37日後の500倍および1,000倍 2回 茎葉散布で薬害はないが、さらに試験が必要である(例数不足)。 官能検査:収穫17日および10日前の1,000倍 2回 茎葉散布で喫味に対する影響は認められないが、さらに試験が必要である(例数不足)。 [備考]薬効・薬害試験の試験年(例数):H20(1)、H21(1)、H22(1)</p>
<p>ポリオキシシンAL水溶剤 薬効・薬害(菌核病)</p>	<p>科研製薬(株)</p>	<p>薬効・薬害:2,500倍および5,000倍 2回 茎葉散布で、薬害はないが、効果にふれがあり、さらに試験が必要である(例数不足)。 [備考]薬効・薬害試験の試験年(例数):H21(3)、H22(4)</p>
<p>プラズマ油剤 薬効・薬害(ネコブセンチュウ) 2倍量薬害 官能検査</p>	<p>(株)エス・ディー・ イスハイオテック</p>	<p>薬効・薬害:2ml/穴 1回 圃場全面土壌注入で薬害がなく、効果が認められる(終了)。 2倍量薬害:移植30日前の2ml/穴および4ml/穴 1回 圃場全面土壌注入で薬害が認められない(終了)。 官能検査:移植30日前の2ml/穴 1回 圃場全面土壌注入で喫味に対する影響は認められない(終了)。 [備考]薬効・薬害試験の試験年(例数):H22(2) 移植30日前までの20L/10a(2ml/穴、30cm間隔) 1回 圃場全面土壌注入で可である。</p>
<p>エコショット 薬効・薬害(灰色かび病)</p>	<p>クミアイ化学 工業(株)</p>	<p>薬効・薬害:1,000倍および2,000倍 2回 茎葉散布で薬害はなく、効果は認められるが、さらに試験が必要である(例数不足)。 2倍量薬害:未了。 官能検査:未了。 [備考]薬効・薬害試験の試験年(例数):H22(2)</p>
<p>ブリザード水和剤 薬効・薬害(疫病)</p>	<p>日本農薬(株)</p>	<p>薬効・薬害:1,200倍 2回 茎葉散布で効果が認められず、さらに検討が必要である。 [備考]薬効・薬害試験の試験年(例数):H22(2)</p>

資材名および試験対象	試験依頼社	総 括 コ メ ン ト
プリザード水和剤 薬効・薬害(うどんこ病) 2倍量薬害 官能検査	日本農業(株)	薬効・薬害:1,200倍 2回 茎葉散布で薬害がなく、効果が認められる(終了)。 2倍量薬害:移植30日および37日後の600倍および1,200倍 2回 茎葉散布で薬害が認められない(終了)。 官能検査:収穫17日および10日前の1,200倍 2回 茎葉散布で喫味に対する影響は認められない(終了)。 [備考]薬効・薬害試験の試験年(例数):H22(3) 収穫10日前までの 1,200倍 2回以内 茎葉散布で可である。
GG-285水和剤 薬効・薬害(空洞病) 2倍量薬害 官能検査	(株)日本グリーンアンドガーデン	薬効・薬害:1,000倍 2回 茎葉散布で薬害がなく、効果が認められる(終了)。 2倍量薬害:移植30日および37日後の500倍および1,000倍 2回 茎葉散布で薬害が認められない(終了)。 官能検査:収穫17日および10日前の1,000倍 2回 茎葉散布で喫味に対する影響は認められない(終了)。 [備考]薬効・薬害試験の試験年(例数):H22(3) 収穫10日前までの 1,000倍 2回以内 茎葉散布で可である。
GG-285水和剤 薬効・薬害(立枯病)	(株)日本グリーンアンドガーデン	薬効・薬害:1,000倍 2回 茎葉散布で薬害はないが、効果にふれがあり、さらに試験が必要である(例数不足)。 [備考]薬効・薬害試験の試験年(例数):H22(3)

殺虫剤

資材名および試験対象	試験依頼社	総括コメント
XI - 06010D 薬効・薬害(ヨトウムシ) 2倍量薬害	デュポン(株)	薬効・薬害:4,000倍 1回 茎葉散布で薬害はなく、効果は認められるが、さらに試験が必要である(例数不足)。 2倍量薬害:移植30日および37日後の2,000倍および4,000倍 2回 茎葉散布で、薬害は認められないが、さらに試験が必要である(例数不足)。 官能検査:未了。 [備考]薬効・薬害試験の試験年(例数):H22(1)
ランネート45DF (処方変更1) 官能検査	デュポン(株)	官能検査:収穫17日および10日前の1,000倍 2回 茎葉散布では喫味に対する影響があり、さらに検討が必要である。 [備考]薬効・薬害試験の試験不要
ランネート45DF (処方変更2) 官能検査	デュポン(株)	官能検査:収穫17日および10日前の1,000倍 2回 茎葉散布で喫味に対する影響は認められない(終了)。 [備考]薬効・薬害試験の試験不要 収穫10日前までの1,000倍 2回以内 茎葉散布で可である。
GG - 280水溶剤 薬効・薬害(モモアカア プラムシ) 2倍量薬害 官能検査	(株)日本グリーン アントガーデン	薬効・薬害:2,000倍および4,000倍 1回 茎葉散布で、薬害はないが、効果にふれがあり、さらに試験が必要である(例数不足)。 2倍量薬害:未了。 官能検査:収穫17日および10日前の2,000倍 2回 茎葉散布で喫味に対する影響は認められないが、さらに試験が必要である(例数不足)。 [備考]薬効・薬害試験の試験年(例数):H22(2)

植物生長調節剤

資材名および試験対象	試験依頼社	総括コメント
AH-01液剤 薬効・薬害(除草効果) 2倍量薬害 官能検査	北興化学工業 (株)	薬効・薬害:200ml/10aおよび500ml/10a(希釈水量100~150L/10a) 1回 雑草茎葉散布で薬害がなく、効果が認められる(終了)。 2倍量薬害:大土寄期7日前および大土寄期の1,000ml/10aおよび500ml/10a(希釈水量100~150L/10a) 2回 雑草茎葉散布で、薬害の発生は認められない(平成21年度終了)。 官能検査:大土寄期7日前および大土寄期の500ml/10a(希釈水量100~150L/10a) 2回 雑草茎葉散布で喫味に対する影響は認められな [備考]薬効・薬害試験の試験年(例数):H21(3)、H22(2) 大土寄期までの200~500ml/10a(希釈水量100~150L/10a) 2回以内 雑草茎葉散布で可である。

苗床・本畑資材、機械、乾燥の部

苗床資材

資材名および試験対象	試験依頼社	総括コメント
あいえぬ堆肥-親床用 育苗用土(親床)	石川(株)	発芽率、発芽勢に明らかな差は見られなかったが、苗の生育が明らかに遅れた。さらに改善が必要である。

本畑資材

資材名および試験対象	試験依頼社	総括コメント
生分解性マルチフィルム 「ピオノーレマルチNB」 本畑生育	昭和電工(株)	対照の透明マルチに比べて本畑初期および心止期の生育に明らかな差は見られなかった。被覆時および移植時の作業に支障はなく、心止期まで破れは認められなかった。 本畑すき込み時の作業性、およびその後の分解に問題がなかった。 使用可能である。 合格
生分解性マルチフィルム 「ピオノーレマルチ 配色」 本畑生育	昭和電工(株)	対照の配色ポリエチレンマルチに比べて本畑初期および心止期の生育に明らかな差は見られなかった。被覆時および移植時の作業に支障はなかったが、配色の境界部分より破れが拡大した。 本畑すき込み時の作業性に支障はなかったが、黒色部分の分解が遅れた。 さらに改善が必要である。
生分解性マルチフィルム 「エコディア」C20」 本畑生育	東レ(株)	対照の透明ポリエチレンマルチに比べて本畑初期の生育はやや劣ったが、心止期には明らかな差は見られなかった。被覆時および移植時の作業に支障はなかったが、心止期までに植穴部分より破れが生じ、収穫葉にマルチ片が付着した。 本畑すき込み時の作業性に支障はなかったが、やや分解が遅れた。 さらに改善が必要である。

注) :代替材につき、対照と比較し問題が認められない場合に使用可と判定される材。

機械

資材名および試験対象	試験依頼社	総括コメント
たばこ管理作業車 AP-1C 移植作業性	文明農機(株)	移植作業性に特段の問題はなく、移植作業に使用可能である。 合格
たばこ管理作業車 AP-1C 収穫作業性	文明農機(株)	収穫作業性に特段の問題はなく、収穫作業に使用可能である。 合格

資材名および試験対象	試験依頼社	総 括 コ メ ン ト
連縄消毒乾燥装置 SRSK-01 処理効果(発カビ防止)	三州産業(株)	取扱性・作業性および乾葉の外観品質に問題はなかった。 乾燥施設環境および管理状況により処理効果にバラツキが認められるが、発カビ防止効果は認められる。 連縄消毒用の装置として使用可能である。 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">合格</div>

乾燥

資材名および試験対象	試験依頼社	総 括 コ メ ン ト
シーアイノービ(梨地) 乾燥	シーアイ化成(株)	乾燥経過は、対照に比べ、粗水切りから黄変期は遅れる傾向にあったが、褐変終了までの日数に差はなかった。 乾葉の外観性状は、対照に比べ、色沢がやや濃いのが、品質上の問題はなかった。 使用可能である。 なお、乾燥初期の脱水が遅れる傾向にあるので、曇雨天時の乾燥管理には注意が必要である。 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">合格</div>

- 1 会議内容 平成22年度たばこ耕作資材委託試験総括コメント決定打合会(最終)
- 2 会議主催者 東京都港区芝大門1-10-1全国たばこビル
(財)日本葉たばこ技術開発協会
- 3 開催日 平成23年 2月24日
- 4 開催場所 東京都港区芝大門1-10-1全国たばこビル内会議室
- 5 出席有識者 (財)日本葉たばこ技術開発協会 常任委員
- 久保 進 元(財)たばこ産業弘済会 理事
(殺菌剤、殺虫剤、病害虫防除)
- 岡田 齊夫 出光興産(株)アグリバイオ事業部技術顧問
(殺虫剤、病害虫防除)
- 佐藤 昌良 元日本たばこ産業(株)遺伝育種研究所 所長
(栽培生理、遺伝育種)
- 鳥越 則昭 元日本たばこ産業(株)沖縄原料本部長
(遺伝育種)
- 横山 昌雄 (財)日本植物調節剤研究協会 研究所所長
(植物生長調節剤・除草剤)
- 原 秀紀 元日本たばこ産業(株)葉たばこ研究所 所長
(殺菌剤、殺虫剤、病害虫防除)
- (財)日本葉たばこ技術開発協会 専門委員
- 原田 晴康 日本たばこ産業(株)葉たばこ研究所 主任研究員
(農薬全般、病害虫防除)
- 古賀 一治 日本たばこ産業(株)葉たばこ研究所 研究員
(農薬全般、病害虫防除)
- 石渡 義弘 日本たばこ産業(株)葉たばこ研究所 主任研究員
(栽培生理、土壌肥料)
- 中村 崇 日本たばこ産業(株)葉たばこ研究所 研究員
(栽培生理、遺伝育種)
- 寺岡 俊朗 日本たばこ産業(株)葉たばこ研究所 研究員
(栽培生理、農業機械)

カッコ内は各委員の専門分野